

新規事業採択時評価結果（平成23年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全課
担当課長名：

事業の概要

事業名	一般県道 大島浪板線（浪板工区）	事業区分	地方道	事業主体	宮城県
起終点	自：宮城県気仙沼市大浦 至：宮城県気仙沼市東八幡前	延長	2.75 km		
事業概要	一般県道大島浪板線（浪板工区）は、三陸縦貫自動車道の建設計画が進む中でインターチェンジが気仙沼市浪板及び大浦地区等に設置される計画が明らかとなり、これと国道45号を接続する道路である。				
事業の目的、必要性	一般県道大島浪板線（浪板工区）は、三陸縦貫自動車道に計画されている2箇所のインターチェンジと国道45号を接続することにより震災復興、救急医療の確保、地域間交流などに寄与する道路となる。また、津波浸水区域を避けた位置に道路を設置し、周辺地域における災害時等の緊急避難路又は復興支援道路として機能する。 大津波により被災した大浦・浪板地区の復興まちづくりや事業中の大島架橋事業により大島と連絡する必要不可欠な道路である。				
全体事業費	約 40 億円	計画交通量	約 3,500 台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.9	総費用 33億円 （事業費：32億円 維持管理費：1億円）	総便益 64億円 （走行時間短縮便益：56億円 走行経費減少便益：7億円 交通事故減少便益：1億円）	基準年 平成23年	
感度分析の結果						
	交通量変動		B/C= 1.7 (交通量)	-10%	B/C= 2.1 (交通量)	+10%
	事業費変動		B/C= 1.7 (事業費変動)	+10%	B/C= 2.1 (事業費変動)	-10%
	事業期間変動		B/C= 1.8 (事業期間変動)	+20%	B/C= 2.0 (事業期間変動)	-20%

事業の影響	評価項目	評価	根拠
自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	
	事故対策	-	
社会全体への影響	歩行空間	◎	・現道は幅員が狭小 (W=3.7m) で歩道のない区間が約1kmあり、歩道設置により歩行者等の安全が確保される。
	住民生活	○	・気仙沼市立病院（第二次救急医療施設）へのアクセス向上。
	地域経済	○	・三陸縦貫自動車道と国道45号を接続し、両路線へのアクセス向上及び定時性が確保。
	災害	◎	・津波浸水区域を回避し震災復興道路として、三陸沿岸道路、国道45号へアクセスすることができ、災害時にも復旧作業や救援活動などに必要な道路。
	環境	-	
	地域社会	○	・陸中海岸国立公園、大島などの観光地へのアクセス向上。 平成21年観光客入込数：約196万人（気仙沼・唐桑半島）
事業実施環境		◎	・気仙沼市の復興まちづくり計画に位置づけられている。 ・地元自治体や地域住民などからの要望が強い。

採択の理由

学識経験者等の第三者委員会の意見	
事業採択の前提条件	<ul style="list-style-type: none"> 費用対便益：便益が費用を上回っている。 地元自治体や地域住民などから強い要望があり、円滑な事業執行環境が整っている。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。